

質問項目▶ 地域のつながりについて

人のつながりをもっと大切に

近藤隆行 (公明党)



答弁 新年度に向けても支援を拡充していく

問 少子高齢化が加速する現状において、地域のつながりの希薄化も進行している。様々な角度から地域のつながりが強まるよう、市として積極的な支援が必要。

答 市の自治体では、市職員が各地域の組織に入り込んで活動し、地域の活性化を図っている。また、地域おこし協力隊の活用など、これらの取組も効果的と考えるが、市の見解を伺う。

問 他自治体では、市職員が各地域の組織に入り込んで活動し、地域の活性化を図っている。また、地域おこし協力隊の活用など、これらの取組も効果的と考えるが、市の見解を伺う。

答 過去に同様な施策を取り組んだが、なかなか上手くいかなかった。他の自治体でもやり方を工夫し、変更しながら成果を上げている。それを研究してはどうか。

問 今後検討していく。

答 これからはより、市長、市職員が現場を訪れ、地域に根差した活動をより展開していく。



地域のつながりは地域の発展だけでなく、健康と防犯などにもつながる (市のHPから)

質問項目▶ 人口減少と少子高齢化による担い手不足

どうする？ 人口減少問題

大島靖浩 (創成)



答弁 全国に先駆けた3つの人口戦略を展開

問 人口減少に歯止めをかけ、地域の活力を維持するため「定住人口戦略」、「活動人口戦略」、「交流・応援(燕)人口戦略」の3つの戦略を掲げ、各種施策を実施している。

答 本市の今後の人口推計の見通しと対策について伺う。

問 本市の今後の人口推計の見通しと対策について伺う。

答 あらゆる年代の方々に配慮し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進している。特に、20代から40代は子育て世代であり、かつ労働力の中核として地域経済を支え、持続可能な社会を構築する上で重要な役割を果たすと捉えている。

問 若者の地元定着を促すため、教育や就労分野での取り組み状況について伺う。

答 地元企業の協力を得て、小学生には、見学や仕事体験イベント等、中学生にはキャリア教育講演や職場体験等、高校生には企業見学バスツアー等を開催し、その良さや魅力に触れる機会を創出している。



第3次燕市行政改革推進プランが掲げる「持続可能な行財政運営の推進」を戦略5として位置づけています

燕市3つの人口戦略 (出典：第3次燕市総合計画)

17の視点 一般質問

気になるキーワード、どれですか？



議員が独自の視点で市に考えを聞く一般質問はこれまで最多の17名が登壇。17のキーワードから興味あるページへどうぞ。議員の解説も必見です！ (一般質問全編は各議員のQRコードから録画映像でご覧いただけます)

- 経済活性化
- 地域政策
- 人口減少問題
- 表示看板設置
- 児童研修館
- DXの推進
- DXの推進
- 子育て支援
- 原発問題
- 持続可能都市
- 保育認可定員
- 人口減少社会
- 子育て支援
- 燕市観光戦略
- インフラ維持
- 終活支援
- 市政について

- P.18 P.18 P.17 P.17 P.16 P.16 P.15 P.15 P.14 P.14 P.13 P.13 P.12 P.12 P.11 P.11 P.10

質問項目▶ 少子化社会における人手不足問題と地域経済活性化について

学校給食費の負担軽減

持続可能な経営のために

高橋妙子 (創成)



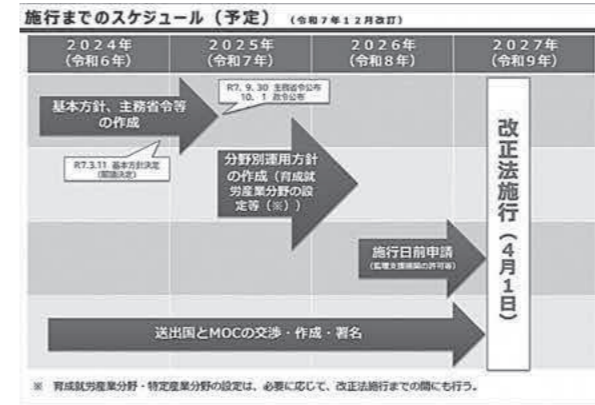
答弁 施策を講じ産地産業の活性化を図る

問 企業が賃上げを行い、持続可能な経営に取り組むために何が重要か、市としてできることは何か。

答 企業が雇用を維持し、賃上げや設備投資など積極的な経営を実施するために、企業活動による収益の増加が図られていることが重要である。これまでも市として事業収益に結びつく企業活動に対し、様々な産業振興施策を講じてきた。こうした施策で企業収益を増加させ、持続可能な企業経営や産地産業の活性化を図ってほしい。

問 新たに始まる育成就労制度において、今後より多くの外国人労働者が増えていくことが予想され、外国人労働者の雇用の在り方も変わっていくと思いが認識を伺う。

答 技能実習制度では認められなかった外国人本人の希望による転籍が一定の条



育成就労制度は外国人材の育成と就労を支援する新しい仕組みである

件下で認められ、受け入れ企業側においても外国人労働者から選択してもらえるよう労働・教育環境の構築も必要となる。市としては市内企業が育成就労制度を必要に応じてうまく活用できるよう、セミナー等で情報提供を行うほか、制度活用を希望する企業を専門家につなぐなどのサポートを考えている。

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 地域経済の持続性を高める TX の推進 市内事業者の DX 推進の現状と今後

DX 推進の展望と企業支援

齋藤和也 (創成)



答弁 AI 活用と伴走型支援で生産性向上へ

問 行政手続オンライン化等、DX 推進計画の進捗と今後の展望は。

答 本計画は、順調に進めてきたと考えている。現在、418 手続がオンライン化しているが、実際の利用者が今後の課題である。次期計画では生成 AI を大きな柱とし、相談対応の 24 時間化や受付自動化など多様な市民サービス向上を目指していく。

問 市内事業者の DX 進捗状況と、課題に際した今後のきめ細やかな支援体制は。

答 金融機関等と連携してアンケート調査を実施し、小規模事業者ほどコストや人材不足で DX が遅れているなど現状把握に努めている。引き続き産官学金連携の「燕市 DX 推進ラボ」を軸に、スマート工場化やロードマップ作成の費用補助、誰も



燕市DX推進ラボについて

燕市DX推進ラボとは

質問項目▶ 市内の表示看板について 除雪対応について

劣化した表示看板の対応は

藤井秀人 (新風みらい)



答弁 撤去し、新たな看板は設置していない

問 町内の入り口に設置された表示看板が全く見えないところが目につくが、今後どう対応していくのか。

答 行政区の入り口などに設置の表示看板が経年劣化で色あせや剥がれが生じ、本来の案内機能を果たせていないものがある。現状では承知している。現状では、老朽化した看板は市で撤去し、新たな看板の設置は行っていない。今後も同様に対応していきたい。

問 市営駐車場の除雪対応は

答 市営駐車場は、市内区3か所、分水地区に5か所の計8か所。除雪は市内一斉除雪の際、道路の除雪が完了した後、駐車場の出入口と場内の通路を除雪している。駐車区画内の除雪は定期駐車の利用者自身で除雪することになっており、申請時に書面を渡



全く見えない町内の劣化した表示看板

問 市営駐車場の除雪対応は

答 市営駐車場は、市内区3か所、分水地区に5か所の計8か所。除雪は市内一斉除雪の際、道路の除雪が完了した後、駐車場の出入口と場内の通路を除雪している。駐車区画内の除雪は定期駐車の利用者自身で除雪することになっており、申請時に書面を渡

問 国道や市道の信号交差点の通学道路の歩道除雪にはどう対応しているのか。

答 国道、市道の除雪作業完了後に、信号交差点で歩行者に支障となる雪山があれば速やかに各道路管理者に情報提供し、対応をお願いしている。

質問項目▶ 自治体 DX 推進事業による市民サービスの向上と行政業務の効率化

デジタル市役所の現状は...

田澤信行 (新風みらい)



答弁 DX による、より質の高い行政運営を

問 自治体業務のデジタル化は人口減少とどう社会問題がある中で必然的な流れであり、早急に進める必要があると認識している。しかし、一方でデジタルに不慣れた高齢者や情報弱者に対する丁寧な配慮も必要となる。デジタル化をいかにして市民に浸透させるかを伺いたい。

答 AI・RPA (定型業務の自動化) がどのように活用され、業務の効率化につながっているかを伺う。

問 パソコンの操作を自動化するための RPA の活用や会議録の自動作成などで AI を活用し業務の効率化を図ってきた。今後は、各種申請に対する受付の自動化や自動音声による問い合わせの 24 時間対応など、市民サービスの向上につなげていきたいと考えている。

問 デジタルに不慣れた高齢者や情報弱者に対する取り組みについて伺う。

質問項目▶ 児童研修館こどもの森 公共施設のスロープについて 道の駅 SORAIRO 国上の更なる発展

人材を育てる場として有効

タナカ・キン (市民クラブ)



答弁 中高生が小さい子供と接する機会として

問 リニューアルから1年間の入館者数について伺う。

答 昨年1月11日から今年の1月11日までで累計4万7384人。市内の方が2万7171人・市外の方が1万8949人。市外の方が1264人で、構成比は市内57%・市外43%・県外が3%である。

問 この数字には驚いている。今後、市外・県外の方がさらに増えると思うし、燕市に対する経済効果にもつながる。そして、国の児童館ガイドラインによれば、活動内容が8点拳がついて、ボランティアの育成と活動が盛り込まれている。こういう場所ですの子の面倒をみるというボ



こどもの森の外観。市外・県外の人も多く訪れる

問 児童研修館「こどもの森」は、子育て支援センターと違って、対象がゼロ歳から18歳未満までの全ての児童が利用できる。人材を育てる場として、高校生たちがもつと利用したくなるイベントを開催するような施設にしたい。

答 市としては中高生の子供たちにぜひボランティアとして接する機会を設けられないか「こどもの森」の職員と話合っている。

問 デジタルが不慣れた高齢者などに対しては、地域包括支援センターとの連携、あるいはふれあいサロンや地域の茶の間と連携して、何とかデジタルの利便性というものを皆様にちよつとでも体感していただけるような取り組みを考えていきたいと思う。

DX 施策の基本方針

2つの視点

- 【市民サービスのDX】
- 【行政オペレーションのDX】

【重点実施項目】

1. 行政手続オンライン化
2. 業務システムのクラウド化推進
3. RPAやAIなどの新技術の導入
4. マイナンバーカードの利活用促進
5. デジタル・デバイド対策の推進
6. デジタル人材の育成

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 持続可能都市の実現

システムのアップデートを！

こばやしよしあき
小林由明 (創成)

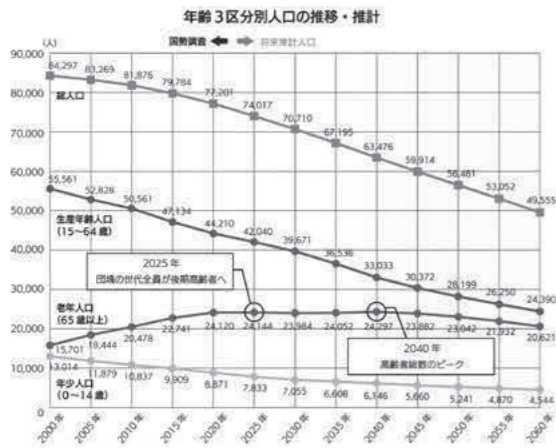


答弁 持続可能な燕市を実現していきたい

問 持続可能な自治会運営のため、専門的知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、支援していきたい。認知症世代が増加する中、全国では集金にお

答 高齢化人口減で、自治会など地域コミュニティの運営が成り立たなくなるのではなか

問 持続可能な自治会運営のため、専門的知識や経験を有するアドバイザーを派遣し、支援していきたい。認知症世代が増加する中、全国では集金にお



人口減高齢化で地域運営は限界に。数に頼らない社会システムへのアップデートが急務。(出典:第3次燕市総合計画)

答 自治会の手引に集金の際の注意事項を記載するなど、周知を図っていき

問 自治会の手引に集金の際の注意事項を記載するなど、周知を図っていき

質問項目▶ 保育園・こども園の定員 子どもの医療費助成拡充

定員見直しで増えた交付税は

ながいゆきお
長井由喜雄 (日本共産党議員団)



答弁 定員区分精査で9157万5000円増

問 昨年3月議会で保育施設の定員を数値に近い調整をする

答 昨年3月議会で保育施設の定員を数値に近い調整をする

問 昨年3月議会で保育施設の定員を数値に近い調整をする

年度	定員	入園児数	利用率
2000年度	2,400	2,060	85.8%
2001年度	2,400	2,042	85.1%
2002年度	2,400	2,038	85.0%
2003年度	2,400	2,038	85.0%
2004年度	2,400	2,038	85.0%
2005年度	2,400	2,038	85.0%
2006年度	2,400	2,038	85.0%
2007年度	2,400	2,038	85.0%
2008年度	2,400	2,038	85.0%
2009年度	2,400	2,038	85.0%
2010年度	2,400	2,038	85.0%
2011年度	2,400	2,038	85.0%
2012年度	2,400	2,038	85.0%
2013年度	2,400	2,038	85.0%
2014年度	2,400	2,038	85.0%
2015年度	2,400	2,038	85.0%
2016年度	2,400	2,038	85.0%
2017年度	2,400	2,038	85.0%
2018年度	2,400	2,038	85.0%
2019年度	2,400	2,038	85.0%
2020年度	2,400	2,038	85.0%
2021年度	2,400	2,038	85.0%
2022年度	2,400	2,038	85.0%
2023年度	2,400	2,038	85.0%
2024年度	2,400	2,038	85.0%
2025年度	2,400	2,038	85.0%
2026年度	2,400	2,038	85.0%

20年分の保育施設の利用定員と入園児数をまとめた資料

答 指摘を受けて令和7年度から実際の園児数と大きく乖離しないよう調整を図っている。定員区分の精査により、令和7年度の基準財政需用額の差額は9157万5000円と

質問項目▶ すこやか赤ちゃん てまりの湯周辺整備 分水地区の小学校 人材育成

誕生祝い金の終了後の支援は

さいとうのぶゆき
齋藤信行 (創成)



答弁 今後も子育て支援の在り方を検討したい

問 誕生祝い金の終了後の支援は、すこやか赤ちゃん誕生祝い金制度は、子育ての負担軽減に一定の効果があつたと受け止めてい

問 てまりの湯周辺整備の方向は、道の駅上は今年度、駐車場不足解消に隣

問 てまりの湯周辺整備の方向は、道の駅上は今年度、駐車場不足解消に隣

問 てまりの湯周辺整備の方向は、道の駅上は今年度、駐車場不足解消に隣

問 てまりの湯周辺整備の方向は、道の駅上は今年度、駐車場不足解消に隣



周辺整備が望まれる道の駅上

新分水良寛史料館の完成は、道の駅上を訪れる皆さんに新たな魅力を提供し、滞在時間の延長や周辺地域への周遊を促す起爆剤となることを確信している。そのため、新分水良寛史料館を含む道の駅全体として将来を見据えた長期的な視点に立ち、文化振興・観光振興・地域振興の多角的な観点から総合的に検討を進める必要があると考える。

質問項目▶ 原発問題 市の財政問題 農業問題 人口減少対策

原発問題について

つちだのぶる
土田昇 (日本共産党議員団)



答弁 市民の生命、財産を守ることが私の仕事

問 現在の原発が非常に危険なことは福島第一原発の事故で承知と思

問 現在の原発が非常に危険なことは福島第一原発の事故で承知と思

問 現在の原発が非常に危険なことは福島第一原発の事故で承知と思

問 現在の原発が非常に危険なことは福島第一原発の事故で承知と思

問 現在の原発が非常に危険なことは福島第一原発の事故で承知と思



安心安全を求める原発

※UPZとは原子力発電所からの距離が半径おおむね5～30キロメートル区域のことを指しています

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 燕市観光振興について

観光誘客を強化すべきだ!



岡山秀義 (創成)

魅力的なまち燕市の実現を目指していく

問 燕市は、世界に誇る金属加工技術を有する「ものづくり」であり、多様な観光資源を有している地域である。インバウンド観光が経済に与える影響は極めて高い。今、一番求められている「ものづくり」と「桜」も燕市にあり、戦略的に誘客すれば一大観光地となる。しかし、現状は通過型観光にとどまり、十分な経済効果に結びついていない。

答 産業史料館や工場見学、職人体験を戦略的な観光商品とし、国上山や弥彦山を含めた広域回遊ルートを強化展開すべきではないか。また、広域連携の強化とともに、DMO取得を目指すべきと考えるが見解を伺う。

答 観光振興を通じて、より多くの人々を引きつける可能性がある。現在、弥彦・燕三条エリアマーケティング会議を組織し、広域的な事業を展開している。DMO取得については研究する。



外国人観光客が行きたい上位「ものづくり」「桜」がある燕市は注目観光地となっている

※DMOとは(Destination Management/Marketing Organization)の略。観光地域づくり法人。地域の多様な関係者と協同し、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人

質問項目▶ 公共インフラについて 保育について

インフラ更新は間に合うか



稲村隆行 (創成)

厳しい中で維持管理を継続

問 消雪パイプや下水道、橋梁など多くの道、橋梁などの多くが高度経済成長期に整備されており、老朽化が進んでいる。今後は更新需要の増加が見込まれ、限られた財源の中でどう安定的に維持していくかということが全国で課題となっている。

答 更新需要は増加する一方、財政状況は厳しさを増す見込み。各種計画に基づき重要度や緊急度を踏まえて優先順位を定め、計画的な維持管理に努める。

問 適切な保育が行われているか。市はどのように確認しているか。また、保護者からの相談や不安の声があった場合、どのように対応し改善につな

答 保育の質向上に向けて



老朽化が進むインフラの維持が全国的に大きな課題となっている

問 消雪パイプや下水道、橋梁について、現在の更新計画や予算規模で安定的に維持していくことが可能か伺う。

答 県の指導監督や人材育成支援チームの巡回により確認している。相談があった場合は事実関係を把握し、必要に応じて指導・助言を行っている。今後は業務改善や研修の実施などにより、支援体制の強化を進めていく。

質問項目▶ 新年度予算 人口減少社会 産業振興について

持続可能な重要事業とは



渡邊広宣 (市民クラブ)

変化の兆しを実感できる事業展開を

問 新年度予算は、人口減少社会を前提に持続可能で活力あるまちづくりに取り組むとしているが、その具体策について伺う。

答 燕市を進化、発展させる新産業創出事業や中小企業DX推進支援事業、つばめ稼ぐ農業支援などの施策で地域の活性化と経済効果の向上を図っていく。また、事業承継の基礎調査も行い、次年度以降に対して活用を含め企業誘致などにつなげる意味で、ホップ・ステップ・ジャンプの大きな種まきのスタートの年だと認識して取り組んでいく。

問 人口減少要因として自然動態、社会動態とその両方とあるが、その認識と分析について伺う。

答 人口減少分析について庁内の部長会議など



希望溢れる彩られる新年度予算スタート

どで定期的に自然減、社会減とそれぞれの要因分析を行い人数を確認している。特に若い世代の転出抑制に向け働きがいや生活の質の向上のため、安心して子育てできる環境づくりと働きやすい職場環境の整備が優先的に取り組む課題であると認識している。

質問項目▶ 今後の子育て支援 デブについて

今後の子育て支援について



田中淑子 (新風みらい)

全ての子供たちが夢を描ける環境づくり

問 子育て支援について伺う。愛知県清須市では新1年生へのランドセル贈呈を行っているが検討できないか伺う。

答 子育てするなら燕市でのさらなる充実を図る政策を展開し、子供たちに夢と希望を育む取り組みをさらに強化していきたい。障がいがある子供たちや不登校の子供たちへの支援強化などの環境づくりを目指す。

問 また清須市で実施していない支援も行っており、就学援助の中にランドセル購入費も入っているのでは現状は難しい。

答 市内小・中学校で今年度8校にて点字や



愛知県清須市では新1年生に入学祝いとしてランドセルを贈呈

手話を学ぶ学習を実施しており、子供たちがお互いに支え合うことを学ぶ機会と考えている。

また、令和6年度から障がい者雇用理解促進セミナーを開催し、障がいのある人を受け入れる側への働きかけを行っている。さらに、つばめバリアフリーフェスを開催し、広く市民に障がいや障がいのある方への理解を広める取り組みを進めている。

※耳が聞こえない、聞きづらい方のこと

マークがついた枠内は、議員が質問の背景や説明をまとめたものです。

マークしてある質問項目は本文に内容を掲載しています。

質問項目▶ 終活支援について 学校給食の無償化



個人の尊厳を守る終活支援を

みやじとしひろ
宮路敏裕
(日本共産党議員団)



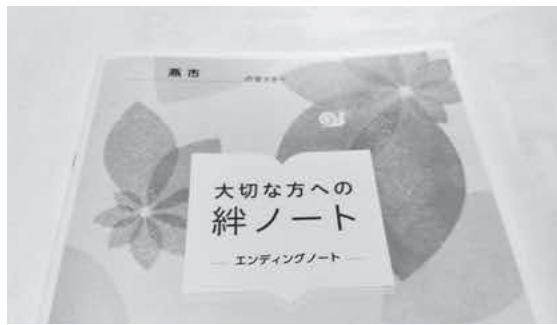
答弁 様々な窓口を通じ、不安解消に努める

問 誰もが望む生き方がかなえられるよう、エンディングノートを市民に登録してもらう事例が他自治体であり、ぜひとも研究してもらいたいが。

答 高齢者が医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、相談窓口や支援体制の充実に努めている。「大切な方への絆ノート」は長寿福祉課窓口等で、市民へ無償で提供している。例年11月開催の「介護・福祉学びの収穫祭」では、書き方講座を実施し、「自分なりに考えて書きたい」という感想など、自身や家族の終活について考えるきっかけとなっている。緊急時の連絡先などの情報を書き留めて、必要な人に情報提供するツールでもある。

問 高齢者世帯が増加する中、いざというときに若い親族の助けを借りられない場合などの支援体制はどうか。また、「大切な方への絆ノート」についての市民の反応はどうか。

答 横須賀市の「わたしの終活登録」や名古屋市の「あんしんエンディングサポート事業」は承知している。しつかり情報収集に努め、燕市でやるべきことがあれば、取り入れていきたい。



自身や家族、もしもの連絡先リスト、葬儀やお墓など託すものなどを記入する

質問項目▶ 地域おこし協力隊の伴走支援 防災について 燕市合併 20 周年 市役所業務の効率化・省力化



地域おこし協力隊員の募集は

やまざきみつお
山崎光男
(無所属)



答弁 市の課題解決や地域活性化のために採用

問 15年ぶりに代わった燕市のトップに、三条市との合併についての考えを訊いた。合併20周年を迎えようとしている今、

答 改定内容は現在確認中である。改定が決まれば「広報つばめ」等により市民に周知し、地域防災計画は次回改定時に用語の修正を行う。

問 気象庁は今年5月下旬から、気象の警報などが大きく変わることを発表した。防災計画等の点検や見直しを行ってはどうか。

答 令和8年度は新たにシタイプロモーションと農業の分野において協力隊員を採用したい。

問 地域おこし協力隊活動領域マップが公表されている。燕市も様々な課題解決や活性化のために、これまで採用してこなかった幅広い分野から隊員を募つてはどうか。

答 令和8年度は新たにシタイプロモーションと農業の分野において協力隊員を採用したい。



領域マップは、協力隊のミッションが4つの活動方針、27のカテゴリーに分類されている

問 市は今後生成AIとどのように向き合っていくか。

答 多様な市民ニーズに迅速に対応できるように、総務省の「自治体におけるAI活用・導入ガイドブック」に示されている他団体の事例などを参考に検討していきたい。

問 新市長の燕三条合併に関する所見を伺う。

答 現状においては三条市とは合併ではなく、連携の強化を図っていくことが最善であると考えている。